

コミュニティ中野小屋通信

第4号
2008年11月26日
発行所
コミュニティ中野小屋
編集 真嶋、高木



笠木小5・6年生による たるきめた

親子三世代ふれあい会 開催

第一八回中野小屋地区親子三鼓笛発表、笠木小学校児童による代ふれあい会(第五八回敬老会)が10月19日(日)、中野中学校体育館で盛大に執り行なわれた。幼児からお年寄りまで総勢約六百名、来賓として西区长ほか各種団体の代表を迎え、司会大田喜義氏、鷲尾由香氏の開会の挨拶で始まった。プログラムの内容は、午前は保古野木保育園(はら組、ひまわり組)大友中央保育園(ゆき組、つき組)笠木保育園(まつ組)それぞれが祝辞を述べた。その後百歳お遊戯、小瀬小学校児童による百歳及び米寿の表彰が行われ、副会

長松永幸夫氏の乾杯の発声で、昼食となった。午後からは、各小学校から二名の児童代表が、日頃世話になっている、おじいちゃん、おばあちゃんへ感謝の気持ちを綴った作文を朗読し、その後腕に白慢のある団体・個人計九組の踊りや楽器演奏等のアトラクションが行われた。閉会の挨拶を副会長の遠藤やい氏が、万歳三唱を副会長の熊谷正茂氏が行い閉会となった。

百歳及び米寿の表彰

百歳及び米寿の表彰が、親子三世代ふれあい会の式典で行われた。今年度は明治四十一年に生まれた一名と大正九年四月から大正一〇年三月までに生まれた一七名の方々が表彰を受けた。受けられた方々は次のとおり。百歳が伊藤ソコ様(横尾)一名、八十八歳が小竹サツ様(大友)田巻多左衛門様(藤野木)高田セツ様(横尾)仙茂様(横尾)小柳吉男様(保古野木)椎谷キヨノ様(明田)仙ミヨシ様(横尾)岡本寛様(中野

小屋)松水タネ様(小瀬)小林ソメ様(笠木)齋田キヨ様(小見郷屋)池井トキイ様(笠木)矢島美栄様(保古野木)遠藤カツイ様(中野小屋)小林角栄様(笠木)野村ナヲ様(笠木)岩野ヨセ様(田淵)以上一七名(生れた順)大変おめでとうございました。これからは長生きしてください。記



米寿の表彰を受けるおばあちゃん

“瑞穂祭”開催

十月二十六日(日)第四回瑞穂祭が開催された。当日は朝からどんよりと重い雲で覆われたが、幸い大きく崩れることなく終えることができた。朝9時から始まった祭りは中野小屋中学校とJA新潟みらい中野小屋支店の二会場で行われ、中学校会場の体育館では一年生から三年生までの各学年がこの日のために練習してきた合唱を来賓及び保護者の前で披露した。それぞれの学年が、それぞれの想いを込めスクラムを組んで掛け声とともに合唱に挑んだ姿がとても印象的だった。その他フリーマーケットや募金などの活動や生徒が工夫を凝らした様々なアトラクションが行われた。グラウンドではニュースポーツ体験コーナーでグラウンドゴルフが行われ、子供からお年寄りまで心地よさそうな汗をかいて楽しんでいった。JA会場の屋外では、ポップコーン、わたあめの模擬店や、わたあめの模擬店や、スーパードーナツ、餅つき体験、JAの出店、農機具の展示、菊会による菊の展示などが行われており大変な賑わいがあった。その日無料サービスで用意された五〇〇食の豚汁や、きなこ餅は盛況により完売したとのこと。ポップコーンや、わたあめ、スーパードーナツも無料提供された。屋内では、ある部屋では立木小学校、小瀬小学校の児童が腕によりをかけた絵や習字、工作が一人一点ずつ展示された。また別の部屋では地域の皆さんの作品、太田稔氏の県展入賞の絵を始め写真、書、生け花、手芸作品、民芸品などが展示された。中野小屋地区だけで、これ程多くの才能を持っている方達がいるとは、正直思ってもいかなかったし、とますますまだまだ才能を持っている方達がいるようでならない、そんな想いで作品を見入っていた。お昼になると、JA会場に設けられた昼食会場で、中学生、職員全員を招いて、おにぎり、豚汁、きなこ餅、バナナのお昼が振舞われた。その後三時頃まで展示が行われ閉会となった。

手探り状態で始まった中学校との共同瑞穂祭も四回を終え、ようやく地域の皆さんにも認知されつつあるようだが、行事ありきの行事では、本末転倒となってしまう。地域の皆さんが楽しく交流できるよう、これからも色々工夫していく所存ではあります。皆さんからのご意見、ご要望を取り入れながら、皆さんと一緒により良い祭りを作っていきますので、これからも宜しくお願致します。それから、この祭りを開催するにあたりご協力下さった皆さん、成功裏に終わったこと、心より感謝いたします。ご苦労様でした。



瑞穂祭の風景



瑞穂祭の風景
力作揃いの作品を展示

“西川一斉清掃”実施



草の根分けでのゴミ拾い、皆さんの意気込みが感じられる！

十月十八日(土)午前八時三十分より、中野小屋地区「西川を守る会」(会長石田惣市)の主催による西川一斉清掃が行なわれた。

当日は朝からこれぞ秋晴れとゆう様な天候の下、小学生六名、中野小屋中学校の生徒全員、地域の有志の方達と新発足の西川を創る会、新潟、西蒲、燕の流域からの有志、西蒲土地改良区の方達の総勢約二百名が参集し、西川及び周辺に不法投棄されたゴミの回収撤去作業をおこないました。約一時間半の作業で回収されたゴミは、二トントラック一台分位になり、その多さに驚かされた。冷蔵庫や石油ストーブなどもあり又々ビックリ。また、ゴミとは云えキッチンと回収すれば有効な資源であるアルミ缶や

スチール缶のホイ捨てが多くありました。

私達の日常生活に、空気と水はふんだんにある様に思われておりますが、水ほど重要で又代替の利かない物はないと云われております。私達の母なる西川が取り返しのつかない様な事にならないように地域に、そして流域に暮らす皆さんと一体となって西川のクリーンアップに取り組んでいきたいものであります。ご参加くださいました小学生のチビっ子達、引率されたお母さん方、生徒の皆さん、先生方、地域の皆さん、そして各団体それぞれ皆さん、大変お疲れさまでした。



一生懸命ゴミ拾いをする中・中の生徒たち

事務局だより

□総会開催の報告

平成二〇年七月三〇日(水)総会が行われた。三役として会長

小出正榮、副会長高橋民雄、高木守、監事赤川国男、岡沢兼雄、事務局長牧恒夫で今年度をスタートした。

□募集事項

引き続き、この新聞の名前(愛称)を募集しております。それとこの新聞の編集スタッフも合わせて募集いたします。連絡先二六二二二七三事務局まで。

□事務室開設

今年度より、中野小屋公民館内の宿直室脇

の部屋をコミュニティ中野小屋の事務局として開設しました。